

## 教室の飾りにしない！ 学年＆学級目標の決め方

### こんな経験、ありませんか？

- 「学年目標が決まってないから、いくつか考えてきて。」と学年を組んでいる先生に言われてこまった。
- 「学年目標分かる人？」と子どもに聞いても、数名しか分からなかった。
- 一生懸命考えて決めた学級目標が、3月に振り返ってみるとあまり活用できていなかった。

そうならないようにするために、どうすればよいでしょうか？

### 年度初めにしておきたいこと！

- 去年まで担任だった先生方から話を聞き、子どもの実態をしっかりと把握しておく（成長に沿って）
- 学年の先生と指導方針やどんな学年にしていこうかという考え方を共有しておく
- どんな学級にしていきたいのか、一年間の見通しをもつ

以上のことは、学級目標を決める以上に、よりよい学級経営をしていくためにも大切です！

### 目標を決めるときのポイントは？

- 一年後のゴールを見据えて（目指したい子どもの姿）
- 子どもたちに浸透するように（一緒に考えるのも◎）
- 子どもの実態に合ったものに（発達段階に合わせて）
- 様々な場面で活用していけるように

また、学級目標を決めるときには、

- あわてず、新しい学級を知る
- 学級のストロング、ウィークポイントを見極める
- どんな学級にしたいのかという思いを全体で共有する（見える化）
- 抽象から具体へ（実際の場面を想像させる）
- 学年目標と関連させる（目標が多すぎると、ぶれてしまう）

という点も大切になります。右の写真のように、高学年だと子どもたちと考える時間をとるのもよいかと

みんなが考えた学級目標

No.	学級目標	学年目標
1	ドレジャー	小学校生活最後の学年を、どんな場面でも楽しんでほしい。どんな学年で大変なことでもチャレンジしてほしい。そして、中学校で生きてほしい。
2	一歩一歩	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
3	チャレンジ	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
4	Don't Stop	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
5	新しいコミュニケーション	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
6	STEP UP	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
7	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
8	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
9	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
10	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
11	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
12	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
13	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
14	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。
15	笑顔	目標の年、何ができるか決めて、毎日少しずつ頑張る。やめるときは、その理由を自分で説明できるようにする。

### 活用して、身近な物にする

- 学年だよりのタイトルにする
- 行事ごとの目標に絡める（〇〇劇団の学習発表会、等）
- 合い言葉にして常に意識
- 行事のがんばりカードに生かす
- 学年末に作る図工の作品集の表紙に
- 卒業テーマ（6年生の場合）
- 朝の学習時間を〇〇タイムとして設定する
- 学期末の集会の名前に使う
- 子どもへのプレゼント（賞状、メダル、等）
- 学級の活動で生かす
  - 〇〇検定、〇〇チャレンジ
  - 「〇〇の木」実を集めていく

など、せっかく考えて作った目標を活かせる場面を普段から教師が意識することも大切だと思います。

子どもによって、学年によって、学級経営の考え方によって、決め方は様々です。子どもにとってよりよい方法はどれか、その選択肢の参考にしていただければと思います。

### ～参考資料～

